

特集=R.ワーグナー & G.ヴェルディ ~ 2人の巨人に至る道、そして…

特別文化対談=金剛永謹+V.アフアナシエフ

# 音楽現代

The Ongakugendai

Vol.43

No.11

November

クラシック音楽誌

特集

## リヒャルト・ワーグナー & ジュゼッペ・ヴェルディ ~ 2人の巨人に至る道、そして…

特別文化対談

### ヴァレリー・アフアナシエフ+金剛永謹 〈能とクラシック音楽の間で〉

インタビュー

飯守泰次郎

前橋汀子

山口恭範+吉原すみれ

イレーネ・テオリン

山本純ノ介

中澤剣太

福田祥子

大島尚志

及川睦子 他

カラー口絵

サイトウ・キネン・フェスティバル松本2013

ミラノ・スカラ座来日公演「ファルスタッフ」「リゴレット」

ザルツブルグ音楽祭

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 エデュケーション・プログラム

藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」

特集=リヒャルト・ワーグナー&  
ジュゼッペ・ヴェルディ  
~2人の巨星に至る道、そして…

オペラ劇場あらかわバイロイト

「トリスタンとイゾルデ」公演出演

及川睦子・大島尚志・

福田祥子さんに訊く

「ブリュンヒルデと

イゾルデにみる女性像の違い



リヒャルト・ワーグナー

訊き手=浅岡弘和

及川睦子（ソプラノ歌手）

—ではイゾルデ観をメインに、ブリュンヒルデとの違いとかをお願いします。

及川 とかくワーグナーというと大きい声で喚くというイメージが無きにしも非ずですよ。でもやはりイゾルデにはまだ十代のピュアな感じがあるので大曲をワーワー歌うというよりフレッシュに透明感を大切にしたい。究極のロマンスティズムというカリリックに美しく表現できて初めて何か訴えかけるものが出せると思います。

—ワーグナーは歌というより語りですよ。

及川 言葉は大切にしたいと思います。ウィーンに7年間留学していたので一言一句大切に歌いたいです。これだけの大曲、もしドイツ語ができなければ引き受けなかったでしょう。

—及川さんのワーグナー歌手としてのウリみたいなものは？

及川 ドイツ語の正確さと長いフレーズを美しく歌う。ワーグナーのヒロインというところかイノセントで幼いところが思い込みの激しさに繋がっているの、ある意味ちよつと少女のように表現できたらいいなと思います。

—ゼンタとかだつて相当変ですよ（笑） 思い入れが激しくて自己陶醉している。

及川 まだ幼い心があつての思い込みというか、相手の良い所だけがクローズアップされて見える。

—ナイーヴって日本では否定的な意味は全然ないから。

及川 逆に向うでは無知とか世間知らずとかいう意味ですよ。

—ワーグナーのヒーロー、ヒロインは皆良くも悪くもナイーヴですよ。両方の意味がある。

及川 トリスタンも自分の正義とか、こうだと思つたら猪突盲進して自分から転んでしまうよな……

—英雄なんだか駄目男なんだかわからないところがありますね。天才と狂人は紙一重というかやっぱナイーヴなんですよ。

及川 何かが足りてない、全部が視えてないというか年を重ねて色々な面が視えるようになって懐の深さみたいなものはまだない。それでイゾルデと。ピュアとピュアが一緒になると崩壊する果敢なさが如実に現れている（笑）若くてピュアで突つ走つて壊れる。一緒に死ぬために来たのに何で1人で死ぬの？ と。

—ロミオとジュリエットも1人で死にますね。

及川 ニアミスみたいにして（笑） 観客には大人がやつてるように見えなかつたらいいなと思つてます。ナイーヴで我がままで気高く透明感のある少女の様なイゾルデを演じたいです。

## 大島尚志 (演出家)

——まず今回のコンセプトをお聞かせ下さい。  
大島 演出家が十人いたら十人のトリスタン像があると思うので、今回は形の上では物すごくシンプルに一言で言えば心中物だと。そのためには心理的な描写とかが語られる展開の中で浮き彫りになるスタイルでやろうと思う。

——最近余計なものばかり付け加える人が多いですからねえ。

大島 ある種の解釈が演出を説明しがちなものになります。このオペラはテキストと音楽が既に四つに組んで組み切れないほどのものがあるので、音楽がいかに物語を語るかということが重要になって来ます。音楽が芝居を、言葉が芝居をすることが大前提で他の見せ方をしてもこの時間をもたない。心中劇の神髄である、あそこに行くぞという道中の揺れ動く二人の気持ちとそれに相応しいアプローチで徹底してやろうと。

——第二幕はどうですか？

大島 第一幕はイゾルデが語るイゾルデの場です。第三幕はトリスタンがイゾルデを待ちこがれる、死に行くトリスタン。そして真ん中の二幕は二人が交わるシーン。

——二人の人生が交差するような。

大島 その意味では二幕が一番重要ですね。これは生と死、昼と夜という光と闇の物語でもある。そこを二幕は言葉の持つ力を限られた空

間のやりとりの中で最大限見せられたらと思っ  
てます。

——ワグナーの音楽は時間芸術というより空間  
芸術と言った方が良いでしょう。

大島 モチーフが広がるような空間性が強く感  
じられます。その空間は目に見える空間じゃな  
くて耳から聞こえるものをキッカケにして個人  
が広がる世界のような。

——頭の中に浮かんで来る想念みたいな。

大島 そう、イメージーションが広がってそれ  
が固定化するだけに留まらないですつと広がり  
続けるような。ライトモチーフ的なものはやつ  
ぱり空間的な広がり方というべきですかね。フ  
ランス的な意味での浮遊感とは違うし、固定さ  
れていない。

——特にトリスタンは調性的にも揺らいでいる。

大島 あの揺らぎは揺らいでいること自体に意  
味があるのです。ある種の確信犯ですから。そ  
うすることによって二人の間の揺らぎみたい  
ものを心理的に表現できたらいい。

——ドン・キホーテじゃないけど皆主人と従者の  
二人一組になってますね。

大島 このオペラの魅力の一つはこれをドラマ  
として全部を描ききらずに、従者とか侍女に語  
ることにより物語に動きが出て来る語り劇とい  
うか妄想とか想念がどんどん広がるような……  
演出はしやすいと思う。従者には主人公の生き  
様を最後まで見届けるといふ役割があるので訊

き手として存在し、なおかつ死に至る物語の証  
言者にもなりうるという信頼関係がそこにはあ  
るんです。

## 大島尚志 (ソプラノ歌手)

——ではまずイゾルデへの想いをお聞かせ下さ  
い。ブリュンヒルデとの違いとか。

福田 ブリュンヒルデは全編を通して人間の時  
と神の時があるし、ちよつと不思議な人物像で  
すね。イゾルデは完全に人間なので感情的など  
ころでもわかりやすいしスムーズに身近に感じ  
ます。ブリュンヒルデも色々な愛があります  
恋人を殺しちゃう(笑)。イゾルデは人間です  
から恋人への愛というの大きな違いがあります。  
だから理解しやすいとか想像しやすい。

——一作だけと三作通してというだけでも随分違  
いますしね。

福田 先日ウィーンでメストのトリスタンを聴  
いたんですがイゾルデはニーナ・シュテンメで、  
偶然ドミンゴがいらして私にも三幕だけ一緒  
に観させていただきました。終始音楽を指揮者  
のごとく振りながら聴いておられて(笑) 以前  
シュテンメと共演されておりましたね。それで思  
い入れが倍増し良い経験とエッセンスをいただ  
いて帰国しました。

——それは本公演へ向けていつそう燃え上がる経  
験になりましたね。ではワグナーのヒロイン  
の共通点は？

福田 ワグナーの思い入れのあった女性像と  
いうのは「こんな下らない男のために命を投げ  
打つなんてバカじゃないの？」(笑)と言われて  
もそれでも命を投げ打つ。そういうところがブ  
リュンヒルデにしろイゾルデにしろあると思  
います。

——ブッチーニも女性の自己犠牲には拘っていま  
した。  
福田 そうなんです。共通点は情けない男が必  
ず現れる(笑)。トリスタンとかジークフリート

とか、ちよつとどうなんだろう？もう少ししつ  
かりしていればなあと(笑)

——それは面白い。鋭い指摘ですね。

福田 私だったらそういう情けない男のために  
命を捧げるかな？ とか(笑)。

——ワグナーにとって女性の自己犠牲は重要な  
テーマの一つですね。

福田 確固たる彼のイメージがあるんだろうな  
と要所要所に感じます。  
——それと媚薬がキーですね。もともと深層心理

として惹かれ合っていたとも言われますが、本  
当は毒薬で死ぬ管がプランゲーネが気を利かせ  
て媚薬に変えたので3幕まで伸びてしまった。  
福田 トリスタンは死にたくて死にたくて、  
死なせてくれとずつと思ってる人なのに(笑)。  
——元々このオペラは3管だしワグナーはもつ  
と小さいものを意図していたのに書いていうう  
ちに伸びちゃった。死の薬が愛の薬に取り替え  
られたばかりに。

## オペラ劇場あらかわパイロイト 第5回ワグナー音楽祭 「トリスタンとイゾルデ」

11月23日、24日、両日共13時、東京・サンパール荒川大ホール

スタッフ

総支配人・東京国際芸術協会理事長：片山孝調

指揮：クリスティアン・ハンマー

演出：大島尚志

美術・衣裳：大島尚志

照明：中村浩実

キャスト：11/23 11/24

トリスタン：伊東大智 池本和憲

イゾルデ：及川睦子 福田祥子

プランゲーネ：小畑朱実 河村典子

マルケ：小野和彦 郷田明倫

クルヴェナル：田辺とおる 杉野正隆

若い水夫/牧童：野口唯一 佐藤圭

メロート：出沼哲 (両日)

舵手：田中拓風 (両日)

管弦楽：TIAAフィルハーモニー管弦楽団

東京国際芸術協会 03-3809-9712



### 及川睦子

武蔵野音大首席卒。読売新人演奏会等出演。  
同大学院修了後、ウィーン国立音大でW・ベ  
リー等に師事。同大学卒業後、フランス政府  
給費生として「CNIPAL」で研鑽を積む。ピ  
カルディヨーロッパ音楽コンクール1位、ガス  
コーニュ国際コンクール2位等フランス、イタ  
リアで受賞多数。パリ・オペラコミック座を  
はじめフランス各地、ベルギー等にてオペラ  
等で活躍。内外での主なる主演は「フィガロ  
の結婚」「ルイーズ」「神々の黄昏」他多数。



### 大島尚志

中央大学文学部哲学科卒業。故栗國安彦に師  
事。マルチェッラ・ゴッー二女史のもと演出  
基礎を学ぶ。モーツァルト全曲や外国オペラ  
の他、三木稔作曲「ワカヒメ」など日本オペ  
ラの演出も多い。自身の作、台本、脚本によ  
る「聖徳太子」「火麻呂の木」「防人の歌・妻  
の歌」「ありがとう北里先生」「耳なし芳一」  
など、作品作りにも積極的。「元禄のトラヴィ  
アータ」「大江戸版ファルスタッフ」など8作  
品を演出。日本文化で読み解く着眼点と構成  
力に評価を得ている。



### 福田祥子

大阪音大ピアノ科卒業。大阪芸術大学大学院  
声楽専攻修了。二期会オペラ研究所本科首席  
修了。第6回大阪国際音楽コンクール第2位。  
あらかわパイロイトでは「ワルキューレ」  
「神々の黄昏」と共にブリュンヒルデ役で出演。  
「圧倒的にして鮮烈な歌声と存在感。生まれな  
がらのブリュンヒルデ」(音楽現代)と絶賛さ  
れる。今年、「ドン・カルロ」(エリザベッ  
タ役)、「トリスタンとイゾルデ」(イゾルデ役)  
と大役を歌い絶賛されている。